学校番号	306

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　古典探究（数研出版）						
副教材等	新版 理解を深める核心古文単語 351（尚文出版） 四訂版 プログレス古典総演習 標準編（いいずな書店） 必携 新明説漢文 ～句法と語彙を一緒に学ぶ～（尚文出版） 新精 選古典文法 三訂版（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年生で身につけた語彙や文法の知識をより深め、当時の文化・習慣等を学び、古典の世界をイメージできるようになりましょう。
・多くの古典作品に親しみ、古人の物の見方や感じ方を学び取りましょう。
・予習として本文を読み、わからない語句や表現は事前に辞書等で調べておきましょう。予習の段階で生じた疑問を授業の中で解消する、という心構えで臨みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・一年生で学習した文法事項等を定着させる。
【思考力・判断力・表現力等】
・古典を楽しみながら味わい、言語文化への興味・関心を育む。
【学びに向かう力・人間性等】
・古人の考え方を理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	和歌の修辞と本文に示された教訓を学ぶ ［教材］ 十訓抄　大江山	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート
	貴族にとっての和歌の価値と登場人物の生き方について考える ［教材］沙石集　兼盛と忠見	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：忠見の歌にかける情熱を自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート
	語句の意味変遷の歴史について学ぶ ［教材］枕草子　すさまじきもの	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート
2学期	和歌の修辞を学び、歴史字事実を下敷きにして登場人物の交流関係について読み解く ［教材］ 伊勢物語　初冠 渚の院	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：登場人物の交流関係や各段落の関係性を見極め、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート
	作品の時代背景を学び、現代に通じる古典作品の価値について考える ［教材］方丈記　ゆく河の流れ	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート
	劉邦が鴻門から脱出することができた理由と、項羽が江東に帰らなかった理由を考える ［教材］史記　鴻門の会	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート

	作者の心情を読み取る。影響を受けた物語について調べ、文学史の知識を深める ［教材］更級日記 東路の道の果て 物語	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：『源氏物語』の「夕顔」や「浮舟」について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート
	登場人物の心情と人物像、作品が後世に与えた影響について学ぶ ［教材］源氏物語 光源氏の誕生	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート
3学期	登場人物の行動と人物像について考察する ［教材］大鏡　花山院の出家	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート
	諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察する ［教材］孟子　不忍人之心	a：先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト ノート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間